



夢の実現を目指してFight!

キラットさん

BEAMBITIOUS

『夢はお菓子職人』

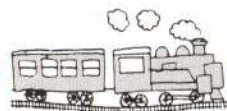
大館ホテヤ学園
大館調理師専門学校
岸 鈴美さん

高校卒業後、三年間東京で働き、この春、地元大館へ帰って来た岸さん。現在は池内の自宅から片山の調理師専門学校へ通学しています。なぜ彼女が調理師の勉強をすることにしたのか尋ねてみました。「東京で働いていたころ、偶然立ち寄ったお菓子屋さんで、工房を公開してお

菓子作りの実演をしていたんです。それを見て『すてきななあ』と思って、お菓子職人になる夢を抱いたんです。夢をかなえるために東京からUターン。再び学生に戻って、お菓子職人になるための修業を始めたのだとか。「できるなら将来はホテルなどの製菓部門で働きたいです」と話す彼女。夢の実現へ向けて行動できるというのは素晴らしいことですね。

趣味を尋ねると、やっぱりお菓子づくり。中でもパンプキンケーキが得意なのだそう。スポーツではスキーが好きという彼女ですが、「来シーズンはスノーボード」という積りもチャレンジしたいです。という積極派です。休日は友達とコーヒーの美味しいお店さがし。カラオケにもよく行くそうです、

今井美樹とドリカムが彼女の得意なレパートリーなのだとか。「大らかで、クヨクヨしない性格の生徒です。何に対しても前向きな姿勢を持ち、校内のムードメーカー的存在ですよ」と先生の評価も上々。笑顔からこぼれる白い歯がキラッと光るさわやかな女の子です。



瀬戸発 → 大館着

前略

大館市民になりました

52

☆今回は御成町3丁目の樋口弘さんご一家です。

Q・ご家族は何人ですか？
妻ひとみと長男の弘樹、長女の弘恵、次女の弘奈と私の五人です。

Q・どちらからおいでになりましたか？
秋田桂城短期大学の開設準備のため、今年三月、愛知県瀬戸市(陶磁器の産地)から来ました。

Q・大館の印象はいかがですか？
周囲に緑が多く、街の中心に川の流れていますね。多くの自然に接することができ、大変うれしく思っています。市内に数多くの温泉があることも、別府などと比較して決してひけをとるものではなく、素晴らしいものだと思っています。また、瀬戸市との気候の差には驚いています。六月中旬までストーブが必要でした。今年の冬を過ごしてみないと実感は沸かないかも知れませんが、厳しい気候条件となることを覚悟しています。

Q・食べ物や言葉はいかがですか？
水道水が大変おいしく、ペットボトルに入れて各地に発送してもいいと思うほどです。言葉の点では私たち夫婦は不自由していませんが、子供たちは苦戦しているようですよ。

Q・大館に何を望みますか？
夜間の街の照明をもっと明るくして欲しいです。また、若い人が定住できる環境づくり(税制面での優遇措置等)は大きな課題ですね。せっかく長木川という自然や河川公園があるのですから、子供も老人も一緒に楽しめるよう整備したらいと思います。

Q・大館に何を望みますか？
夜間の街の照明をもっと明るくして欲しいです。また、若い人が定住できる環境づくり(税制面での優遇措置等)は大きな課題ですね。せっかく長木川という自然や河川公園があるのですから、子供も老人も一緒に楽しめるよう整備したらいと思います。



樋口さんご一家(奥さん撮影)
「お母さん上手に撮ってくね」